

施策評価シート

記 載 年 月	令和元年8月
対 象 年 度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施 策 名	069	中小企業の経営基盤強化の支援					
総 合 計 画	基本目標	IV	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）			主 担 当 部 課 名	生活環境部 経済観光課
	基本施策	05	商工業の振興				
め ざ す 姿	ICT・IoT社会に対応した新たな経営の導入や時代のニーズを踏まえた経営の刷新など、中小企業の経営基盤強化に向けた支援が行われ、中小企業の経営の安定化と地域経済の活性化が図られています。 また、市内で創業を希望する人に対して、各創業支援機関と連携したセミナーや創業塾の開催、個別相談や創業に関する情報提供など、ニーズに応じた様々な創業支援が行われており、まちの活気の創出や、にぎわいの維持向上が図られています。						

2 事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
（事業費）						
当 初 予 算 額	96,433,000	79,769,000	77,667,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市 債	0	0	0			
そ の 他	0	0	0			
一 般 財 源	96,433,000	79,769,000	77,667,000			
予 算 現 額	92,720,000	79,769,000	0			
決 算 額	86,566,183	76,908,777	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市 債	0	0	0			
そ の 他	0	0	0			
一 般 財 源	86,566,183	76,908,777	0			
執 行 率	93.4	96.4	0.0			
（人件費）						
職 員 数	1.20	0.00	0.00			
職 員 人 件 費	9,217,949	0	0			
嘱 託 員 数	0.00	0.00	0.00			
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0			
（間接経費）						
間 接 経 費	1,938,623	0	0			
総 コ ス ト	97,722,755	76,908,777	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
① 事業所数の多摩26市順位（目標値以内）	4	実 績	5	-	-	-	4
	位	達成率	80.0	-	-	-	
② むさし府中商工会議所で行う巡回窓口相談指導件数	1,958	実 績	2,066	-	-	-	2,800
	件	達成率	73.8	0.0	0.0	0.0	
③ むさし府中商工会議所で行う起業・創業に関するセミナー等への参加人数	80	実 績	55	-	-	-	100
	人	達成率	55.0	0.0	0.0	0.0	
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					

指標の分析

指標1については、前回5位であった立川市が3位にまで上昇し、本市は5位に後退した。指標2については、目標値にはまだ開きがあるものの、むさし府中商工会議所と連携しつつ、目標達成に向け努力していく。指標3については、現状値を下回る結果となったが、創業者数については増加し、セミナー等の効果としては維持・向上している。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい			
達成できている点	中小企業の経営安定化を図るため、中小企業事業資金融資利子及び中小企業退職金共済掛金への支援を行うとともに、むさし府中商工会議所が行う商工業振興事業及び経営改善、団体育成への指導等に対して支援を行った。			
達成できていない点	事業所数の多摩26市順位については、立川市での大規模開発の振興により、5位に後退した。 むさし府中商工会議所で行う巡回窓口相談指導件数について、実績値の改善が見られたが、依然、目標値の開きがあるため、目標達成に努める。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
平成20年度には、原油・原材料の高騰により売り上げが減少した中小企業に対し、3年間無利子、500万円を限度額とした「緊急対策資金」を創設した。 平成23年度には、東日本大震災の影響で売り上げが減少した中小企業に対し、3年間無利子、500万円を限度額とした「震災緊急対策資金」を創設した。 平成28年度には、昨今の社会経済状況を踏まえ、融資制度の上限金額の引上げ及び返済期間の延長を行い、平成29年度より実施した。 平成30年度には、事業用自動車でない場合の上限期間を撤廃し、令和元年度より実施した。 各制度とも、時代とともに生じる、経営を取り巻く状況の変化に応じた利用が図られたと評価できる。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
時代とともに生じる、経営を取り巻く状況の変化に応じた支援の実施。
今後の展開
今後も、むさし府中商工会議所と連携し、中小企業の経営に対し、専門家による各種相談、指導の提供、各種講座の開催等の支援を継続して実施していく。また、中小企業事業（開業）資金融資あつ旋を通じて、事業資金の調達、開業への支援を行っていく。

6 主要な事務事業の進捗管理

事務事業名称	4 か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
中小企業経営安定化推進事業	市内中小企業者に対し、必要な事業資金の融資あっ旋及び利子の補助を行うとともに、中小企業退職金共済掛け金に対する補助を行う。 ▼中小企業事業資金融資利子補助 ▼中小企業退職金共済掛金補助	市内中小企業者に対し、必要な事業資金の融資あっ旋及び利子の補助を行うとともに、中小企業退職金共済掛け金に対する補助を行う。 ▼中小企業事業資金融資利子補助 ▼中小企業退職金共済掛金補助	市内中小企業者に対し、必要な事業資金の融資あっ旋及び利子の補助を行うとともに、中小企業退職金共済掛け金に対する補助を行う。 ▼中小企業事業資金融資利子補助 ▼中小企業退職金共済掛金補助	市内中小企業者に対し、必要な事業資金の融資あっ旋及び利子の補助を行うとともに、中小企業退職金共済掛け金に対する補助を行う。 ▼中小企業事業資金融資利子補助 ▼中小企業退職金共済掛金補助
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
生活環境部 経済観光課	中小企業者への事業資金融資のあっ旋及び利子補助を行い、また、中小企業退職金共済掛金等への支援を行うことにより、金融の円滑化を図るとともに、勤労者の福祉の向上と雇用の安定に寄与することができた。			
事業種別				
主要な事務事業				
4 か年事業費計(単位:千円)				
165,028				
商工業振興事業	むさし府中商工会議所が行う、商工業振興事業に対する補助を行う。 ▼商工まつり▼商業祭助成金▼商工振興表彰式典▼経営情報提供事業▼中小企業インターネット等活用支援事業▼創業支援事業	むさし府中商工会議所が行う、商工業振興事業に対する補助を行う。 ▼商工まつり▼商業祭助成金▼商工振興表彰式典▼経営情報提供事業▼中小企業インターネット等活用支援事業▼創業支援事業	むさし府中商工会議所が行う、商工業振興事業に対する補助を行う。 ▼商工まつり▼商業祭助成金▼商工振興表彰式典▼経営情報提供事業▼中小企業インターネット等活用支援事業▼創業支援事業	むさし府中商工会議所が行う、商工業振興事業に対する補助を行う。 ▼商工まつり▼商業祭助成金▼商工振興表彰式典▼経営情報提供事業▼中小企業インターネット等活用支援事業▼創業支援事業
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
生活環境部 経済観光課	むさし府中商工会議所が行う、商工まつりや経営情報提供事業、にぎわいあふれるまちづくり事業や後継者育成事業等に対して支援を行うことにより、市内商工業の振興と安定に寄与することができた。			
事業種別				
主要な事務事業				
4 か年事業費計(単位:千円)				
100,088				
経営改善事業	むさし府中商工会議所が行う、経営改善事業に対する補助を行う。 ▼経営改善普及事業 ・個別巡回窓口相談 ・講習会等による指導 ・施策普及事業 ・記帳継続指導 ・創業支援事業 等	むさし府中商工会議所が行う、経営改善事業に対する補助を行う。 ▼経営改善普及事業 ・個別巡回窓口相談 ・講習会等による指導 ・施策普及事業 ・記帳継続指導 ・創業支援事業 等	むさし府中商工会議所が行う、経営改善事業に対する補助を行う。 ▼経営改善普及事業 ・個別巡回窓口相談 ・講習会等による指導 ・施策普及事業 ・記帳継続指導 ・創業支援事業 等	むさし府中商工会議所が行う、経営改善事業に対する補助を行う。 ▼経営改善普及事業 ・個別巡回窓口相談 ・講習会等による指導 ・施策普及事業 ・記帳継続指導 ・創業支援事業 等
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
生活環境部 経済観光課	むさし府中商工会議所が市内小規模事業者等に対して行う、経営改善普及指導事業に対して支援を行うことにより、市内商工業の振興と安定に寄与することができた。むさし府中商工会議所で行う巡回窓口相談指導件数については、目標達成に向け進捗を図っていく。			
事業種別				
主要な事務事業				
4 か年事業費計(単位:千円)				
59,240				

※ 4 か年事業費計は、第 6 次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 中小企業経営安定化推進事業	30		40,257,000	37,604,727	38,131,000	中小企業への事業資金の融資あっ旋、中小企業退職金共済掛金の補助	B	3
2 商工業振興事業	30		23,382,000	23,382,000	23,472,000	商工業の振興のため、むさし府中商工会議所の実施する事業に対し助成する。	B	1
3 補助金 公衆浴場設備改修費	30		1,320,000	1,112,050	1,254,000	公衆浴場設備改修費に対する助成	B	1
4 経営改善事業	30		14,810,000	14,810,000	14,810,000	むさし府中商工会議所による経営相談指導	B	1
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			79,769,000	76,908,777	77,667,000			

施策評価シート

記 載 年 月	令和元年8月
対 象 年 度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施 策 名	070	地域商業の振興					
総 合 計 画	基本目標	IV	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）			主 担 当 部 課 名	生活環境部 経済観光課
	基本施策	05	商工業の振興				
め ざ す 姿	商店街や百貨店などの相互の連携が図られ、地域商業の充実が図られるなど、市民の日常生活の利便性や快適性が高まっています。また、商業者と市民をはじめとする消費者との交流の促進を通した活気ある商店街づくりと商業活動の活性化が図られ、市内での消費活動が活発化するなど、満足度の高い地域商業が営まれています。						

2 事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
（事業費）						
当 初 予 算 額	72,433,000	75,344,000	67,460,000			
国庫支出金	0	0	0			
都 支 出 金	23,696,000	23,874,000	22,019,000			
市 債	0	0	0			
そ の 他	0	0	0			
一 般 財 源	48,737,000	51,470,000	45,441,000			
予 算 現 額	72,433,000	75,344,000	0			
決 算 額	52,892,170	57,296,789	0			
国庫支出金	0	0	0			
都 支 出 金	17,279,000	15,875,000	0			
市 債	0	0	0			
そ の 他	0	0	0			
一 般 財 源	35,613,170	41,421,789	0			
執 行 率	73.0	76.0	0.0			
（人件費）						
職 員 数	0.77	0.00	0.00			
職 員 人 件 費	5,914,850	0	0			
嘱 託 員 数	0.00	0.00	0.00			
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0			
（間接経費）						
間 接 経 費	1,243,950	0	0			
総 コ ス ト	60,050,970	57,296,789	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
① 市内店舗において商品を購入する市民の割合	68.9	実 績	-	-	-	-	80
	%	達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	
② 日常の買物の便がよいと感じている市民の割合	76.5	実 績	79.9	-	-	-	80
	%	達成率	99.9	0.0	0.0	0.0	
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					

指標の分析

指標1については、むさし府中商工会議所において平成29・30年度分については調査を行っておらず、未記入となっている。指標2については、平成29年度と比較して増加し、目標達成に向けて順調に推移していると評価することができる。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	商店会の実施するイベント事業、装飾街路灯、アーチ等の設置、修繕等及び電気料に対して支援を行うとともに、商業者等の創意工夫を活かした特産品等の開発を支援することにより、地域商業の振興を図ることができた。			
達成できていない点	装飾街路灯のLED化事業が順調に進んではいるが、まだ5商店会のLED化が達成できていないので推奨していく。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
商店会が行うイベント、商店街の街路灯等の新設及び修繕に補助を行うとともに、街路灯等の電気料の補助を行った。加えて、新たな特産品開発に対する支援や、アドバイザーの派遣を行うとともに、平成21・22年度に計3回、平成26年度に計1回、平成27年度に計2回行ったプレミアム商品券の発行に対する補助をとおし、商店街をはじめとする地域商業の活性化を図った。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
商店会では、さまざまなイベントを実施して商店街の活性化を図っているが、商店会未加入事業者、商店の後継者問題、大規模店舗の増加、消費者の生活様式やニーズの多様化などの問題に対応できる商店街づくりが求められている。
今後の展開
東京都及びむさし府中商工会議所と協力し、イベントや街路灯等の補助を継続して実施していく。 また、商店会の電気料負担の軽減及び環境負荷低減に向け、今後も、商店街装飾街路灯等のLED化に向けた支援を継続していく。また、平成25年度に改訂を行った商店街振興プランを活用して、更なる商店街振興を図っていく。 加えて、商店会の街区内に存在する空き店舗を活用した創業支援を実施するなど、地域商店会におけるにぎわいの創出及び活性化に努める。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4 か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
商店街振興事業	各事業の実施を希望する商店会等からの申請に基づき、支援を行っていく。 ▼商店街イベント事業補助 ▼商店街活性化事業補助 ▼商店街共同施設電気料補助 ▼商店会街路灯等LED化事業補助	各事業の実施を希望する商店会等からの申請に基づき、支援を行っていく。 ▼商店街イベント事業補助 ▼商店街活性化事業補助 ▼商店街共同施設電気料補助 ▼商店会街路灯等LED化事業補助	各事業の実施を希望する商店会等からの申請に基づき、支援を行っていく。 ▼商店街イベント事業補助 ▼商店街活性化事業補助 ▼商店街共同施設電気料補助 ▼商店会街路灯等LED化事業補助	各事業の実施を希望する商店会等からの申請に基づき、支援を行っていく。 ▼商店街イベント事業補助 ▼商店街活性化事業補助 ▼商店街共同施設電気料補助 ▼商店会街路灯等LED化事業補助
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署			
	生活環境部 経済観光課			
	事業種別			
	主要な事務事業			
4 か年事業費計(単位:千円)	276,235			
特産品等開発支援事業	商業者による新たな府中の特産品の開発への取組に対して支援を行っていく。 ▼名産品開発・発掘事業 ▼市場流通促進事業	商業者による新たな府中の特産品の開発への取組に対して支援を行っていく。 ▼名産品開発・発掘事業 ▼市場流通促進事業	商業者による新たな府中の特産品の開発への取組に対して支援を行っていく。 ▼名産品開発・発掘事業 ▼市場流通促進事業	商業者による新たな府中の特産品の開発への取組に対して支援を行っていく。 ▼名産品開発・発掘事業 ▼市場流通促進事業
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署			
	生活環境部 経済観光課			
	事業種別			
	主要な事務事業			
4 か年事業費計(単位:千円)	3,000			
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
	所管部署			
	事業種別			
4 か年事業費計(単位:千円)				

※4 か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名		事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
				当初予算額	決算額				
1	商店街振興事業	30		74,744,000	56,725,789	66,860,000	商店会等が行う事業等に補助金を交付する。	B	1
2	府中市特産品等開発支援事業	30		600,000	571,000	600,000	商業者による新たな府中の特産品の開発への取組を支援する。	B	1
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合 計				75,344,000	57,296,789	67,460,000			

施策評価シート

記 載 年 月	令和元年8月
対 象 年 度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施 策 名	071	工業の育成				
総 合 計 画	基本目標	IV	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主 担 当 部 課 名	生活環境部 経済観光課
	基本施策	05	商工業の振興			
め ざ す 姿	技術革新や新製品開発、異業種交流、産学官交流などを支援することで、技術の向上と経営効率化が図られ、市内工業が活性化し、生産力が向上しています。					

2 事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
（事業費）						
当 初 予 算 額	12,126,000	12,463,000	12,250,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市 債	0	0	0			
そ の 他	0	0	0			
一 般 財 源	12,126,000	12,463,000	12,250,000			
予 算 現 額	12,329,000	12,463,000	0			
決 算 額	11,347,853	11,215,489	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市 債	0	0	0			
そ の 他	0	0	0			
一 般 財 源	11,347,853	11,215,489	0			
執 行 率	92.0	90.0	0.0			
（人件費）						
職 員 数	0.76	0.00	0.00			
職 員 人 件 費	5,838,034	0	0			
嘱 託 員 数	3.00	0.00	0.00			
嘱 託 員 人 件 費	9,361,200	0	0			
（間接経費）						
間 接 経 費	6,074,355	0	0			
総 コ ス ト	32,621,442	11,215,489	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
① 製造品出荷額等の多摩地域26市順位。	1	実 績	1	-	-	-	1
	位	達成率	100.0	-	-	-	
② 付加価値額の多摩地域26市順位。	3	実 績	2	-	-	-	2
	位	達成率	100.0	-	-	-	
③ 1事業所当たり付加価値額の多摩地域26市順位。	3	実 績	3	-	-	-	3
	位	達成率	100.0	-	-	-	
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					

指標の分析

指標1については、多摩地域26市のみならず、平成21年度より都内第1位を保っていたが、平成27年度実績値では2位となった。また、指標2及び3についても前回実績値より悪化した。これまで市内で行われていたNECの宇宙関連製品の生産が、市外の別事業所にて実施されるようになったことが主な原因であると推測される。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	府中市工業技術展（テクノフェア）の開催を行うとともに、異業種交流グループの支援を行った。また、府中市工業技術情報センターにおいて、専門の相談員による技術相談及び技術講習会の開催を行うなど、市内中小企業の製品開発や技術革新の取組の支援を図ることができた。			
達成できていない点	なし			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
工業技術の向上等に取り組む中小企業者を支援するため、新製品・新技術の開発や市場開拓等に対する補助を行った。また、ものづくり産業の活性化を支援するため、府中市工業技術展の開催、及び東京都の産業交流展へ出展を行う中小企業者に対する出展支援を行った。 なお、府中市工業技術展については、平成29年7月に開業したル・シーニュ内の府中市市民活動センタープラッツへと会場を移し、駅前立地という好条件を活かした結果、平成29年度を超える方にご来場いただいた。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
産・学・官連携の推進。また、新製品の開発の資金難や人材難への対応。 技術の進歩と伴にニーズが多様化、複雑化している中、幅広い知識や、他機関との連携が求められている。
今後の展開
府中市工業技術情報センターを活用し、専門の相談員による技術相談と技術情報の提供により、中小企業の製品開発や技術革新を支援する。また、中小企業の優れた技術や製品のPR、受発注の場としての府中市工業技術展の充実などをすすめるとともに、平成30年度より府中市工業技術情報センター事務所をむさし府中商工会議所に移転したことにより、さらに連携を深め、技術力・開発力の向上と取引機会の拡大を図っていく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4 か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
中小企業工業技術向上支援事業	府中市工業技術情報センターにおいて、専門相談員による技術相談指導等を行うとともに、新製品・新技術開発事業等の経費の一部を補助する。 ▼技術相談指導等の実施 ▼製造業等活性化事業補助	府中市工業技術情報センターにおいて、専門相談員による技術相談指導等を行うとともに、新製品・新技術開発事業等の経費の一部を補助する。 ▼技術相談指導等の実施 ▼製造業等活性化事業補助	府中市工業技術情報センターにおいて、専門相談員による技術相談指導等を行うとともに、新製品・新技術開発事業等の経費の一部を補助する。 ▼技術相談指導等の実施 ▼製造業等活性化事業補助	府中市工業技術情報センターにおいて、専門相談員による技術相談指導等を行うとともに、新製品・新技術開発事業等の経費の一部を補助する。 ▼技術相談指導等の実施 ▼製造業等活性化事業補助
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
生活環境部 経済観光課				
事業種別				
主要な事務事業				
4 か年事業費計(単位:千円)				
19,644				
異業種交流促進事業	市内の異業種の中小企業者等の交流を推進するため、各種事業を実施する。 ▼府中市工業技術展（テクノフェア）の開催 ▼東京都産業交流展への参加 ▼異業種交流グループの支援	市内の異業種の中小企業者等の交流を推進するため、各種事業を実施する。 ▼府中市工業技術展（テクノフェア）の開催 ▼東京都産業交流展への参加 ▼異業種交流グループの支援	市内の異業種の中小企業者等の交流を推進するため、各種事業を実施する。 ▼府中市工業技術展（テクノフェア）の開催 ▼東京都産業交流展への参加 ▼異業種交流グループの支援	市内の異業種の中小企業者等の交流を推進するため、各種事業を実施する。 ▼府中市工業技術展（テクノフェア）の開催 ▼東京都産業交流展への参加 ▼異業種交流グループの支援
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
生活環境部 経済観光課				
事業種別				
主要な事務事業				
4 か年事業費計(単位:千円)				
25,540				
【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
事業種別				
4 か年事業費計(単位:千円)				

※4 か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名		事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
				当初予算額	決算額				
1	異業種交流促進事業	30		6,385,000	6,385,000	6,179,000	業種や取扱商品の異なる企業の交流の促進	B	1
2	産業活性化広域連携事業	30		40,000	40,000	40,000	産業振興に係る調査・研究、各種事業の実施、情報の交換等を行うため、各種会議に出席する際の負	B	1
3	中小企業工業技術向上支援事業	30		6,038,000	4,790,489	6,031,000	工業技術の向上等に取り組む中小企業者を支援するとともに、専門の相談員による相談・情報提供を	B	1
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合 計				12,463,000	11,215,489	12,250,000			

施策評価シート

記 載 年 月	令和元年8月
対 象 年 度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施 策 名	072	観光資源の活用・創出による地域活性化				
総 合 計 画	基本目標	IV	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主 担 当 部 課 名	生活環境部 経済観光課
	基本施策	05	商工業の振興			
め ざ す 姿	府中の魅力が国内外に伝わり、市内を訪れる観光客が増え、にぎわいのあるまちとなっています。また、日本人だけでなく、多くの外国人が訪れており、市民は、おもてなしのところで受入れられています。					

2 事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
（事業費）						
当 初 予 算 額	83,296,000	124,334,000	168,459,000			
国庫支出金	0	1,875,000	3,000,000			
都 支 出 金	0	8,400,000	0			
市 債	0	0	0			
そ の 他	7,687,000	30,582,000	74,864,000			
一 般 財 源	75,609,000	83,477,000	90,595,000			
予 算 現 額	86,800,000	124,334,000	0			
決 算 額	85,514,703	123,525,866	0			
国庫支出金	1,125,000	2,500,000	0			
都 支 出 金	2,000,000	22,920,000	0			
市 債	0	0	0			
そ の 他	7,230,009	9,347,530	0			
一 般 財 源	75,159,694	88,758,336	0			
執 行 率	98.5	99.4	0.0			
（人件費）						
職 員 数	7.02	2.55	0.00			
職 員 人 件 費	53,925,000	20,038,140	0			
嘱 託 員 数	0.20	0.25	0.00			
嘱 託 員 人 件 費	624,080	781,472	0			
（間接経費）						
間 接 経 費	7,756,689	594,463	0			
総 コ ス ト	147,820,472	144,939,940	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移					R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
① くらやみ祭の来場者数	700,000	実 績	800,000	-	-	-	800,000
	人	達成率	100.0	0.0	0.0	0.0	
② 京王線府中駅における1日平均乗降車人員数	85,279	実 績	90,316	-	-	-	90,000
	人	達成率	100.4	0.0	0.0	0.0	
③ 郷土の森観光情報センター来場者数	40,623	実 績	19,423	-	-	-	42,000
	人	達成率	46.2	0.0	0.0	0.0	
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					

指標の分析

指標①については、昨年度と同様、神輿渡御のルート延長の効果により増加のまま推移している。指標③については、5月1日まで、隣接する郷土の森博物館プラネタリウムのリニューアル準備により休館していたことや、夏のプールが開始する前に猛暑が続いたこと、9月頃の台風等悪天候の影響、また12月に野菜が不作となり陳列商品が薄くなっていたことなどの理由で、施設全体の利用者数が減少したと考えいている。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	・観光大使を活用したPR冊子を改訂増刷し、本市の魅力を最新情報で伝え、誘客に努めた。 ・東京観光財団が実施する地域資源発掘型実証プログラム事業を活用し、広域での観光振興事業を推進した。			
達成できていない点	観光情報発信の拠点である郷土の森観光物産館（郷土の森観光情報センター）の利用者数が減少している。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果 観光情報センターと郷土の森観光物産館を観光情報の発信拠点として活用し、観光協会と連携しながら、各種観光施策や観光案内人ボランティアによる観光ガイドツアーを実施した。桜まつり、けやきフェスタについては、天候等によって来場者数に増減が生じるものの、順調に事業を展開している。観光協会では、府中ならではの素材や製法により制作された商品を「観光推奨品」として推奨し、市内外にPRすることで、賑わいのあるまちづくりを進めており、平成30年度末には47品目を推奨品として認定している。フィルムコミッション事業については、府中市内の観光資源を活かし、撮影を通したPR活動を展開した。観光事業の広域連携を図るため、歴史的なつながりの深い国分寺市と連携して事業を実施しているほか、京王線沿線5市（調布・稲城・府中・多摩・日野市）及び調布を除く4市の連携、南武線沿線市（立川・国立・府中・稲城・川崎市）の連携などを構築し、事業を実施した。市外での府中市のシティセールスを実施するため、京王線沿線市である調布・日野・多摩・稲城市と連携して、新宿駅、都庁の観光情報センター及び観光情報センター多摩で観光PRを実施した。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化 国の天然記念物のケヤキ並木をはじめ、歴史的な観光資源が多数存在している。また、ラグビーや市にゆかりのある漫画・アニメなど、新たな観光資源も様々に存在している。これらの観光資源をいかに活用して観光客を増やしていくかが今後の課題である。また、府中市の観光資源の良さを多くの方に知ってもらうため、市内のみならず、市外での情報発信の強化が必要である。観光客の誘致のためには、近隣自治体と連携し、情報発信力を強化することが必要である。 また、外国人を含む観光客の受け入れ及び受入態勢を強化するため、情報発信やツアーの実施、多言語対応の充実、市民や商店・飲食店のおもてなしの気持ちの醸成も併せて必要である。
今後の展開 観光協会・商工会議所・まちづくり会社等の各種団体と行政、地域が一体となって観光施策を推進し、にぎわいと魅力あるまちづくりを目指す。また、市内のみならず、市外でのPR活動を行うことで観光客の誘客をすすめたい。観光客の消費を喚起できるよう、観光資源と飲食や土産物等の連携を図りたい。また、2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピックの開催に向けて、インバウンドの強化、外国語表記の充実及び、近隣の市町村や鉄道沿線の自治体との広域連携の強化が必要である。

6 主要な事務事業の進捗管理

事務事業名称	4 か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
観光振興事業	- ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、国内外に本市の魅力を発信するほか、外国人観光客の受入れができるように環境整備を行う。 - 広域での観光事業を実施する。	- ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、訪日外国人観光客に対するプロモーションを行う - 大会期間中の案内体制の強化を図るなど、おもてなしの取組を充実する - 広域での観光事業を実施する	- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、訪日外国人観光客に対するプロモーションを行う - 大会期間中の案内体制の強化を図るなど、おもてなしの取組を充実する - 広域での観光事業を実施する	- 世界的なイベントに向けて実施した観光施策を評価 - 検討し、観光施策の方向性を見直す - 広域での観光事業を実施する
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進捗よくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
生活環境部 経済観光課				
事業種別				
主要な事務事業				
4 か年事業費計(単位:千円)				
134,504				
観光情報施設管理運営事業	- 市内外への情報発信を強化し、観光客の誘客を図る - 外国人観光客の受入れ対応を検討する	- 市内外への情報発信を強化し、観光客の誘客を図る - 外国人観光客の受入れ対応を行う	- 市内外への情報発信を強化し、観光客の誘客を図る - 外国人観光客の受入れ対応を行う	- 市内外への情報発信を強化し、観光客の誘客を図る - 外国人観光客の受入れ対応を評価・検討する
【進捗状況】	やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
生活環境部 経済観光課				
事業種別				
主要な事務事業				
4 か年事業費計(単位:千円)				
100,000				
【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
事業種別				
4 か年事業費計(単位:千円)				

※4 か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名		事業 種別	人件 費 事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
				当初予算額	決算額				
1	桜まつり運営事業	30		7,016,000	7,015,729	7,018,000	市民のふれあいの場として、市民参加の自らが創造する府中市民桜まつりを実施する。	B	1
2	けやきフェスタ運営事業	30		3,091,000	3,091,000	3,091,000	馬場大門けやき並木等を会場に府中の観光振興及び商店街の活性化を図る事業	C	1
3	観光振興事業	30		78,531,000	78,130,798	131,044,000	観光資源を内外に広くPRし、観光客を誘致し、地域経済の活性化を図る	B	1
4	観光情報施設管理運営事業	30		35,696,000	35,288,339	27,306,000	観光情報センター等の管理・運営を行う	B	1
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合 計				124,334,000	123,525,866	168,459,000			

施策評価シート

記 載 年 月	令和元年8月
対 象 年 度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施 策 名	073	消費生活の向上				
総 合 計 画	基本目標	IV	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）		主 担 当 部 課 名	生活環境部 経済観光課
	基本施策	05	商工業の振興			
め ざ す 姿	消費生活相談や情報の提供が行われることで、悪質商法などの消費者トラブルや製品事故等のない健全な生活が守られるとともに、環境に配慮した生活スタイルに転換することにより市民生活の向上が図られている。					

2 事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
（事業費）						
当 初 予 算 額	10,251,000	8,148,000	5,515,000			
国庫支出金	0	0	0			
都 支 出 金	3,423,000	5,681,000	0			
市 債	0	0	0			
そ の 他	0	0	0			
一 般 財 源	6,828,000	2,467,000	5,515,000			
予 算 現 額	10,251,000	8,148,000	0			
決 算 額	7,318,582	7,556,524	0			
国庫支出金	0	0	0			
都 支 出 金	3,351,436	5,543,425	0			
市 債	0	0	0			
そ の 他	0	0	0			
一 般 財 源	3,967,146	2,013,099	0			
執 行 率	71.4	92.7	0.0			
（人件費）						
職 員 数	1.55	0.00	0.00			
職 員 人 件 費	11,906,517	0	0			
嘱 託 員 数	5.00	0.00	0.00			
嘱 託 員 人 件 費	15,602,000	0	0			
（間接経費）						
間 接 経 費	10,581,671	0	0			
総 コ ス ト	45,408,770	7,556,524	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
① この1年間に消費者トラブルにあったことがある市民の割合	5.9	実 績	4.2	-	-	-	5.6
	%	達成率	133.3	-	-	-	
② 消費生活展への来場者数	338	実 績	871	-	-	-	700
	人	達成率	124.4	0.0	0.0	0.0	
③ 消費生活講座等への参加人数	177	実 績	178	-	-	-	200
	人	達成率	89.0	0.0	0.0	0.0	
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					
		実 績					
		達成率					

指標の分析

消費生活展については、平成30年度よりル・シーニュに会場を変更して開催したため、多くの市民に来場いただくことができた。また消費生活講座については、平成29年度とほぼ同数の参加であった。今後についてもより効果的な消費者啓発の推進に努めていく。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	消費生活展の開催場所をル・シーニュに変更して実施したところ、多くの市民へ啓発することができた。また、「消費者トラブルにあったことがある市民の割合」についても減少していることから、消費生活に関する啓発が浸透しているものとする。			
達成できていない点	消費生活講座の参加人数については微増ではあるものの、目標値の達成はできていないため、引き続き周知を行い魅力ある講座の開催について検討していきたい。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

府中駅南口ル・シーニュ 6 階に消費生活センターを開所するとともに女性センターより消費生活相談室を移転した。また相談室を 1 部屋追加し 2 部屋とした。相談日を 237 日開設し、市民からの悪質商法などの消費生活上のトラブルに関する苦情等の相談を 1,446 件受付け、解決に努めた。また、悪質商法など消費者トラブルの未然防止を図るため、悪質商法の手口など消費生活に関するパネル展を 3 回開催し啓発に努めるとともに、消費生活展を 2 日間開催し 338 人の参加により、消費生活に関する知識や意識の向上・啓発を図った。さらに、消費生活啓発資料を 5 種類 86,400 部発行し、自治会回覧のほか、イベントでの配布などをとおして市民へ最新の情報提供をしながらトラブルの未然防止等に努めた。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

年々巧妙化する悪質商法による被害の未然防止を図るため、より一層の啓発活動に努めるとともに、市民の身近な相談窓口として消費生活相談室の更なる周知と相談体制の充実強化を図っていく。また、地域のネットワークによる消費者教育が重要となることから、各機関との連携体制の構築が必要となっている。また年々来場者数が減少している消費生活展については、内容の見直しを検討する。

今後の展開

消費生活センターのさらなる周知を図るとともに、相談体制の充実強化に努め、消費者に対する情報提供や啓発事業を充実させることにより、市民の健全な消費生活の向上を図っていく。また、消費生活展については、消費者被害の予防法や消費者が必要としている情報、生活に役立つ情報などを市と公共機関、事業者（生産者）等と協働し発信するようなイベントにしていく。さらに関係機関、団体等と連携を図り、地域ネットワークを構築することで消費者問題に関するきめ細かな活動を展開していく。

6 主要な事務事業の進行管理

[illegible]

※4 かん事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名		事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
				当初予算額	決算額				
1	消費者相談・啓発事業	10		8,148,000	7,556,524	5,515,000	消費生活相談室の運営及び消費生活に関する啓発活動	B	1
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合 計				8,148,000	7,556,524	5,515,000			